

令和5年

1月号

No.639

今月
の
ご法話

笑い
と健康

法音

日蓮宗
法音寺



勇猛精進

かん にん
堪 忍

全てのことに「はい」と言おう

堪忍できる

全てのことに感謝しよう

堪忍できる

全てのことを喜ぼう

堪忍できる

続ければ仏になれる

月刊・法音 令和5年1月号 No.639 目次

【信仰の指針】笑門来福しやもんらいふく 笑顔は開運の秘法です 3

新年のご挨拶 鈴木正修 4

年頭所感 鈴木修徳 8
母に教わった堪忍のこころ 鈴木廣修 12

【朝のこない夜はない】
笑いと健康 山首 鈴木正修 16

〔年賀〕 33

◆仏教まんが・御札と御守 37

◆御符について 45

◆お寺の本棚 46

◆常寂光土への誘い(6) 48

◆のりのね体験 52

◆支院だより 54

◆福祉のひろば 69

○幸せのお手伝い 70

○昭徳会・第15回 福祉実践発表会 日本福祉大学で開催 72

○日本福祉大学・石川県で「第34回日本福祉大学社会福祉セミナー」を開催しました 74

◆幸せの種まき／編集後記 76

◆連載まんが・ひまわり・120 常にもう1回 77

表紙題字 山首上人さま書

表紙写真・胡蝶ラン

掲載写真 表紙・扉 16頁、33頁・裏表紙・梅田雅臣氏撮影

信仰の指針・加納将人氏撮影

さきよの世に清き功徳を積みにししか

きょうみほとけにつかえまつるは

『御開山上人御詠』



千両



信仰の指針

笑門来福

しょうもんらいふく

笑顔は開運の

秘法です

日教五



◆ 新年のご挨拶

鈴木正修 友

令和五年癸卯正月を迎え、皆さま方に心より新春のお慶びを申し上げます。
ます。

昨年九月に妻が亡くなり、多くの方々からはげましの言葉、メール、お手紙をいただきました。この誌面を借りて心より御礼を申し上げます。

この度は日蓮聖人の「人の寿命は無常なり。出づる気は入る気を待つ事なし。風の前の露尚譬にあらざ。賢きもはかなきも、老いたるも若きも定めなき習いなり。されば先づ臨終の事を習うて後に他事を習うべし」というお言葉を痛感いたしました。

「臨終の事を習うて後に他事を習うべし」とは、いつ死を迎えようとも悔いのない生き方をしなければいけないということです。

日達上人が言われた「生きている間しか徳は積みません。皆さんがんばってください」とはこのことだと思えます。

法音寺の先師は昔から儒教の経書・『大学』の「徳は本なり、財は末なり」という言葉をよく使われました。

徳のある人にして初めて繁栄がある」ということです。

ある月刊誌のコラムに次のような話がありました。

「たまたま乗ったタクシートの運転手からこんな話を聞いた。その人の本業は葬儀屋なのだが、本業が暇な時にタクシートの運転手をしているという。一年ほど前、ある男性の母親が亡くなり、彼は依頼を受けて葬儀を執り行った。残った父親は世話になるというので、夫婦で蓄えた一億円を息子であるその男性に与えた。そしてほぼ一年後、父親が亡くなった。ところが、葬儀はしない、骨だけにしてくれればいいという。一億円もの遺産をもらっていないながら、どうして葬式をしないのかと聞くと、いや、あの一億円は自分で使ったり、人に貸したりしているうちに

あつという間になくなってしまった。と言ったという。徳のない人からは一億円の財もたちまち逃げていく。この事実が物語るものは大きい」

始祖の杉山先生は「天爵」ということをよく言われたそうです。『孟

子』に「天爵を修めて人爵之に従う」という言葉があります。天爵は天

が定める位、人爵は人が定める位です。天爵を修めていけば、それに

相応しい人爵が与えられる。天爵を修めていなければ、人は人爵を与え

られても、その地位を失ってしまうということです。天爵、即ち徳を意

識し、それを修めるべく努力していくことが人生の要諦であると思いま

す。

皆さまの本年のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

年頭所感

鈴木修徳

令和五年年頭にあたり、皆さま方に初春のお慶びを申し上げます。

こうして無事に、檀信徒の皆さま方とともに新年を迎えられますことは諸天善神の御守護と感謝しております。

新しい年、令和五年の実行目標は「堪忍」というお言葉を山首上人さまよりいただいています。始祖杉山先生は堪忍について、鈴木慈学上人（当時・芳蔵氏）に次のように教化されています。当時、芳蔵さんは病気に悩み、杉山先生のもとへ訪ねて来られました。

「あなたの話では、あなたの家は病気の問屋ほどだそうですね。病気は

怒りによって作られることが多いのです。まず、怒ってはいけません」

「たしかに妻はよく怒ります。病気を治すには、まず怒らんように、早速家に帰って妻に話しましょう」

「いいえ、そうではありません。堪忍をするのはあなたです。お見受けしたところ、あなたはそうとうヤカマシ屋のようですね。（中略）

あなたが奥さんにああせい、こうせいと命令して、奥さんが喜んでしようか。むしろあまりいい気持ちはいらないでしょう。それではますます病気がひどくなるばかりです。そうではなくて、あなたが奥さんに優しくしてあげれば、奥さんは怒らずにすむでしょう。

堪忍というのは、自分だけが歯をくいしばってがまんすることではありません。人の心をいたわり、慰めるものなのです。（中略）

あなたは菩薩の魂を持っておられますよ。どうか六波羅蜜を修行して
自分を磨いてください」

『始祖・杉山辰子先生物語 安立行(下)』より

堪忍を破って愚痴不足を言うのは相手の身になって考える心、慈悲の
心が欠けているからですよ、病気になるのもそれが元ですよと、まるで
自分が教化を受けている気持ちになります。

また、御開山上人は「極楽はどこに」という御遺稿で次のように述べ
ておられます。

古歌に

極楽は西にもあらず東にも

来た(北)道探せ、

みな身み(南みなみ)にぞある〃

とあります。(中略)

自分じぶんの心こころを美うつくしく楽たのしくするには、仏ほとけさまの仰おほせのようように、大慈だいじ悲ひを
もって人ひとに接せつすることでありまます。夫婦ふうふの間あいだでは共ともに良よいことを見出みいだし
て、おたがいに褒ほめ合あうことことが一番ばん良よいことだと思おもいます。

『泰山院日進上人御遺稿 極楽と仏』より

令和五年を良よい年としにするには、お互たがいに良よいところをほめ合あって慈じ悲ひ
・至誠まこと・堪忍かんにんの实じつ行こうをすることであると改あらためて思おもいます。

本年ほんねんが皆みなさま方がたにとつて、幸多さちおほき年としになりますことことを心こころより祈いのり申もう
し上げあげまます。

母に教わった堪忍のこころ

鈴木 廣修

新年おめでとうございます。本年も皆さまのもとに仏さまのご守護が届きますことを心よりお祈りしております。

さて、過日のサッカー日本代表の快進撃に世界の注目が集まって
おりました。対スペイン戦では史上最低のボール支配率17%にもか
かわらず、歴史に残る大金星をあげました。常に相手の攻撃を防が
なくてはならない試合展開は、まさに「堪忍」の心を試されるもの

だったのではないでしょうか。

ほんねん
本年より、実行目標が「堪忍」に変わります。実行目標の文言に
は、「全てのことに感謝しよう。堪忍できる」とあります。私は、

「堪忍」というと、「我慢」の字が頭に浮かびます。そして、お恥
ずかしながら、我慢しなくては……と思つて辛くなつてしまふこ
ともありません。

しかし、視点を變えて、そもそも今の自分は周囲の堪忍によつて
生かされてきたのではないかと考えると、「我慢」ではなく「感謝」
の心がわいてくる気がいたします。周囲の堪忍に感謝することが、

みずか
自らの堪忍修行の基礎になるのではと、未熟ながらに思います。

さくねん
今年の9月24日に、私の母が亡くなりました。母からしていただいた堪忍の中で最も記憶に残っているものがあります。

わたし
私が大学に進学し、東京で一人暮らしが始まったころ、生活環境の急激な変化などからくるストレスで、数カ月間家から出られなくなっていました。その時、異常を察した母が名古屋から車で私の下宿まで来てくれたのです。戸を開けて私にかけた第一声は今でも忘れません。それは、「何をしているの！学校に行きなさい！」ではなく、「つらかったね。大変だったね。とりあえず一緒に名古屋

屋やに帰かえろうね」という言葉ことばでした。つまり、私わたしを叱しからなくてはいけ
ないという気持ちきもちを我慢がまんして、まずは慈悲じひの言葉ことばをかけてくれたの
です。そのお陰かげで、その後安心ごあんしんして精神的な休養きゅうようの時間じかんを過すこし、そ
の結果けっか、復学ふくがくできました。今の私いま わたしがあるのは、母ははの堪忍かんにんのお陰かげです。

母ははが亡なくなった今いまも、周囲しゅういのさまざまな方かたの堪忍かんにんで、自分じぶんが生いか
していただいていることを日々強ひびつよく実感じっかんしております。

令和五年れいわ ねんは、我慢がまんだけでなく、感謝かんしゃから始はじまる堪忍かんにんを心掛こころがけ、三
徳とくの実行じっこうに励はげみたいと思おもっております。本年ほんねんも何卒なにとぞよろしくお願ねがい
申し上げもう あげます。

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修



笑い と 健康

「意識的に笑う」ことが大事だそうです。

東日本大震災の折り、家が流されて避難所生活を送っていたあるご婦人が、こんな川柳を詠みました。

哀しみを 知って笑いを 深くする

避難所で、同じく家を失った仲間とともに食事を作る中で生まれた句だそうです。作業中には、しばしば誰かが冗談を言い、そのつど笑いが起きたそうです。「笑うことで皆が支え合っていたんです」と彼女は後に語っています。苦ししい時に笑うなんて無理だと考える方もあると思



ますが、人間はあらゆる動物の中で唯一、おかしくなくても笑える能力を持っています。

笑顔をつくると、表情筋の変化を感じた脳は、おもしろいと感じていると認識します。笑い声を立てると、さらに脳は、楽しいのだと思ひ込み、幸せな気分になれるのです。このメカニズムを利用した簡単なトレーニングがあります。

お風呂に入った時、笑顔をつくって「ワツハツハ」と腹式呼吸の要領で5回ぐらい言ってみるのです。言い終わつたとき、確実に気持ち明るくなっていることを感じます。脳をだましているのですが、ぜひだまされたと思つてやってみてください。私も毎晩やっています。

ものまねタレントのコロッケさんのお話です。コロッケさんは自分に対して長い間一つの疑問があったそうです。



それは、自分は世の中の人の役に立っているのだろうか？
という疑問でした。ずっとそれを考えていたところに東日本大震災が起きました。居ても立ってもおられず、すぐに石巻にいろいろな救援物資を持っていったそうです。そして、避難所となっていた体育館に一般のボランティアの方と一緒に炊き出しのお手伝いをしたそうです。その炊き出しの列に並んでいた年配の女性がコロッケさんを見つけて「ああ、コロッケだ。何かやってよ」と言ったそうです。そこでコロッケさんは「今は大変な時ですし、そんな不謹慎なことは…」と言いました。すると、その女性が「私、十日間も笑ってないのよ。笑わせてよ」と言いました。やっついものかどうかと思いつながら、恐る恐る森進一さんの『おふくろさん』のものまねをやったそうです。するとその人だけでなく、周りの人も皆笑ってくれました。小さな笑いの輪がそこにできたのです。その内にあちこちから



「こっちでもやってよ」と声がかかり、そこら中で得意のものまねをすると、それまで暗かった体育館の雰囲気は急に明るくなったそうです。コロツケさんは、自分の使命はこれだぐと思っただけです。それから何度もボランティアに通われたそうです。そしてその都度、リクエストに応じたものまねを披露されたそうです。

ある避難所での話です。「コロツケが来た」と聞くと、どこでも人が集まって来たそうです。そこでも「あ、コロツケ」と言って走ってきた人がいたので、コロツケさんを見るなりガツカリしていたそうです。食べるコロツケだと勘違いしたのです。それ以来、コロツケさんは必ず食べるコロツケをたくさん持っていくようにしたそうです。

筑波大学の名誉教授だった村上和雄先生は遺伝子研究の第一人者です。村上先生が遺伝子は実はどんな人でも2パ



ーセントくらいしか働いていないと言っておられます。後の98パーセントは何をしているのかわからないそうです。もし後の眠っているような遺伝子を活躍させることができたら、人間はもっと変わると言われます。ただ遺伝子には良い遺伝子と悪い遺伝子があるそうです。例えば、免疫力をあげる遺伝子。ガンになるのを防ぐ遺伝子もあれば、逆にガンになりやすくする遺伝子もあるそうです。これは村上先生の研究でわかったのですが、前向きな考えの人は良い遺伝子のスイッチがオンになりやすいそうです。物事をマイナス思考で考える人は悪い遺伝子のスイッチがオンになりやすいとも言っておられます。また、よく感謝する人は良い遺伝子がオンになりやすいそうです。最晩年に言っておられたのが「神仏を敬う心を持つことが大事だ」ということでした。

村上先生が一時長期研究しておられたのが笑いです。



「笑うことによって良い遺伝子のスイッチがオンになり、悪い遺伝子のスイッチがオフになる。だから大いに笑った方がよい」という話を著書に書いておられます。

村上先生は2003年1月に吉本興業と組んである実験をされました。糖尿病の患者さんを25人集めて、500キロカロリーのお寿司を食べてもらい、その後大学の先生に糖尿病に関する講義を45分間してもらい、その2時間後の血糖値を測定しました。すると平均上昇値が123ミリグラムでした。中には200ミリグラムも上がった人もいたそうです。翌日にまたお寿司を食べてもらって、今度はB&Bの漫才を45分間聞いてもらい、血糖値を測りました。平均上昇値は77ミリグラムでした。糖尿病の専門家の話を聞いた時よりも46ミリグラムも下がっていたのです。たくさん笑った人ほど余計に下がっていたこともわかりました。これはすごいことだということで、アメリカの糖尿病の専門



誌『ダイアベーツ・ケア』に投稿されました。これが話題になり、ロイター通信が世界中に配信しました。すると筑波大学が大変なことになったそうです。「B&Bという薬を分けてほしい。どこで買えるのか」という問い合わせが世界中から殺到したそうです。普通は食事制限をしたり、いろいろ制約があるのに、何もせずに血糖値が下がるのだからそんなに良い物はないということです。

余談ですが、B&Bの島田洋七さんの話はとてもおもしろいです。私も『佐賀のがばいばあちゃん』が流行った時に講演を聞きに行ったことがあります。島田紳助さんが当時テレビで「がばいばあちゃんの話が次から次へと出てくるが、一体どんなだけあるんだ」と冗談で言っていました。要するにどれだけ創作しているんだということですよ。

れいわ新選組から参議院選挙に出て当選した水道橋博士



が『藝人春秋』という本を書いています。その中に洋七さんのことが書かれています。

「洋七さんの話は8割が作り話なんです。それでね、あとの2割が嘘なんです」

とにかく洋七さんはおもしろい話をされます。

村上和雄先生は『日本笑い学会』に入っておられました。が、そこに入会して「笑いは決して笑い事ではない」と知ったそうです。どの民族の神話にも笑いがある。神さまも仏さまも大いに笑っておられたのではないかと村上先生は思われたそうです。一説によりますと、かのイエス・キリストの周辺には楽しい笑いがいつも満ちあふれていたそうです。キリストはいつも民衆に囲まれ、仲間と楽しく談笑しながら、会食をすることが多かったそうです。村上先生の著書にこんな話も載っていました。



「私は、チベットのドライ・ラマ法王と何度も対談をしています。私が驚くと、『おまえ、笑いの研究をヨとくすぐられる。私が驚くと、『おまえ、笑いの研究をしてるんだらう。もうちょっと笑え』と言われました。非常に茶目っ気があります。彼はチベット問題には命がけです。彼の人生はまさに『ニコニコ顔で命がけ』です」

次はリウマチと笑いの話を紹介します。リウマチの専門家の日本医大の吉野槇一先生が、1995年3月にある実験をしました。落語家の林家木久蔵（現在の林家木久扇）さんに頼んで手足の関節が変形してしまっている重度のリウマチの女性患者26人の前で、生で落語を1時間やってもらいました。すると、数値が改善したのです。リウマチの患者さんはまじめな人が多いそうです。あまり笑わないそ



うです。そういう人が落語を聞いて笑ったら非常に効果があったのです。

インターロイキン6という炎症の程度を示す物質があります。落語を聞いて笑ったら26人中22人の数値が顕著に下がったといえます。中には健康な人の10倍以上あったのに、正常値に戻った人もいたそうです。リウマチが悪化するとインターフェロンガンマという物質が増えるそうなのですが、これも減ったそうです。普通このインターフェロンガンを減らすためにはステロイドを大量に使わなければいけないそうです。それが一時間笑っただけで効果があったのです。

インターロイキン6を下げるのには全身麻酔を使うと一番効果があるそうです。大笑いをするると全身麻酔をかけたくらいの効果があるということです。この実験が終わった後で、本当によく笑った人は三週間全く鎮痛剤がいらな



くらいの効果があつたそうです。

吉野先生もアメリカのリウマチ専門誌『ジャーナル・オブ・リウマチロジー』に、木久蔵さんの写真入りで投稿したそうです。

愛知県在住の理学療法士の伊坪浩幸さんという方がいます。この人は理学療法士なのですが、今は腹式呼吸を使つた笑いの伝道師として有名です。この人は理学療法士として愛知県がんセンターで働いていたのですが、重度のうつ病になつてしまいました。いろいろなストレスが重なり、うつ病になつたのです。薬を飲み始めたのですが、副作用で眠たくなり、睡魔に襲われて空き時間に横になつていると、同僚から「よくサボるようになったな」と言われるようになりました。それが辛くて横になれなくなりしました。さらに実家が食料品店をしていたのですが、近所に大きな



スーパーができて潰れてしまいました。その後、お父さんが脳梗塞で倒れてしまったのです。そういう悪いことが重なって、うつ病がどんどん悪くなっていきました。もう死にたい」とい感じになったそうです。周りから「休職をして回復を待たたらどうか」と言われたのですが、休職したらもっと悪くなるような気がして仕事を無理に続けたのです。するとある日、がんセンターの患者さんを見舞いに来た方が伊坪さんの顔を見るなり「あんた、患者より悪い顔してるな」と言いました。そして伊坪さんに勧めたのが笑うことです。

「笑わないといけないよ。とにかく笑わないといけない。実は私も末期ガンだったんだ。このがんセンターに入院していたんだけど笑いによってガンを治したんだよ。うつ病なんて笑えば治るよ」と言われ、それから無理やり笑うようにしたそうです。がんセンターの通勤時間の一時間、車



の中で無理やり笑ったそうです。三年間それを続けました。しかし、改善の兆しが見られませんでした。そうするとある女性の患者さんから「腹式呼吸で笑うときっと効果がありませんよ」とアドバイスをされました。「口先だけでワハハではなく、腹式呼吸でワツハツハと笑うといいですよ。これは自律神経を刺激するからすごくいいんですよ」と言われて、それをやったそうです。そうすると、改善がみられ、うつ病がまったくどこかに消えてしまったのです。現在まで8年ぐらい毎日継続されているようですが、今では腹式呼吸の笑いの伝道師となっていていろいろところで講演をされています。非常に評判がいいそうです。

お医者さんで笑医塾を主催されている高柳和江先生という方がおられます。法音寺でも講演をしていたいたことがあります。高柳先生も笑うことを勧められているのです。



が、それ以上にほめる、ほめ合うことを勧めておられます。人はほめられると必ず笑顔になる。そして、ほめた人もその笑顔を見てまた笑顔になる。

高柳先生の本には「ほめられると認知症の人でも良くなくなる。認知症の人で何も聞いていないような人でも横でほめてあげると、それが真実の言葉であれば必ず良い影響を与える」とあります。高柳先生の経験では全く目をつむって反応をしない、口も開けないおばあさんをほめ続けたら、口が開いて食べられるようになり、普通に話をする事ができるようになったそうです。脳梗塞で手足のまひがひどかった人でもほめることで良くなったそうです。一つコツがあるそうです。右の耳ではなく、左の耳からほめた方が良いと言います。左の耳は右脳に通じています。右脳は感情の脳だから左からほめた方が良い影響があるということです。



高柳先生が金沢で笑医塾の講演会をされた時にある夫婦が来られました。講演後にどうしても先生に報告したいことがあると言って、直接会いに来られました。話を聞くと、奥さんが二年前にリウマチになって、それがどんどん悪化して、電動ベッドに寝たきりになったのです。全身の痛みがひどくて、よく夜中に目が覚めました。夜中に目が覚めた時にたまたまラジオをつけると、ラジオ深夜便で高柳先生が「笑いましょう。ほめ合いまししょう」という話をしておられました。奥さんは即、実行しました。するとめきめき元氣になりました。二年後の今は毎日出歩いて、美容院にも、趣味の会にも出かけるようになりました。ご主人の方も硬直性脊椎炎になって両手が動かなくなっただけですが「先生の言われることを実践したんですよ。毎日、二人でほめ合っていたら主人の手も動くようになりました。お父さんちよっと動かしてみても」と言うと、旦那さんがスムー



ズに手を動かして見せたそうです。

「私達は富山に住んでいるのですが、先生が金沢に講演に来られるというので、今日は車で来ました。もちろん主人が車を運転してきてくれたんです」

「ほめ合う暮らしを続けましょう」というのは、法音寺の昔からの標語です。皆さん実践あるのみです。がんばりましょう。



謹賀新年

日蓮宗

法音寺

堪忍

全てのことに「はい」と言おう

堪忍できる

全てのことに感謝しよう

堪忍できる

全てのことを喜ぼう

堪忍できる

続ければ仏になれる

令和五年元旦



内局委員会
評議員会



進師法縁法音会
檀信徒代表者会
全国信教師会

講話日・毎月七日・十七日・二十七日

日蓮宗
大乘山 法音寺

講話日：毎月7日・17日・27日〔午後1時30分〕

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3
TEL. 052-831-7135 FAX. 052-831-9801

支院名・主管者(担任)名	住 所・TEL	毎月の講話日
高 槻 支 院 岩 田 孝 学 いわ た こう がく	大阪府高槻市天神町1-9-2 〒569-1117 ☎(072)685-1003	第1日曜日 11日・21日
大 阪 支 院 古 山 昭 顕 ふる やま しょう けん	大阪府大阪市此花区西九条3-4-41 〒554-0012 ☎(06)6465-5051	第2日曜日 23日
福井布教所 古 山 昭 顕 ふる やま しょう けん	福井県あわら市春宮3-28-2 〒919-0632 ☎(0776)73-5234	3/14・7/19 ・9/5
和 泉 支 院 上 田 智 淳 うえ だ ち じゅん	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404 〒598-0091 ☎(072)466-3112	第1日曜日 14日・22日
神 戸 支 院 田 中 常 行 た なか じょう ぎょう	兵庫県神戸市兵庫区五宮19-17 〒652-0007 ☎(078)360-4884	第2土曜日 21日
淡 路 支 院 田 中 常 行 た なか じょう ぎょう	兵庫県南あわじ市神代国衙910 〒656-0455 ☎(0799)42-0175	5・15・25日
岡 山 支 院 梅 田 浄 顕 うめ だ じょう けん	岡山県岡山市南区若葉町1-16 〒702-8047 ☎(086)262-0818	第1日曜日 7日・23日
高知布教所 山 本 雅 子 やま もと まさ こ	高知県高知市上町5-5-39 〒780-0901 ☎(088)823-1983	12日
福 山 支 院 宮 崎 良 祐 みや ざき りょう ゆう	広島県福山市西町3-19-5 〒720-0067 ☎(084)921-3078	1日 第3日曜日
三 原 支 院 森 野 智 広 もり の ち こう	広島県三原市皆実2-9-22 〒723-0052 ☎(0848)62-5087	第2土曜日 第4日曜日
安芸津支院 大 本 信 行 おお もと しん ぎょう	広島県東広島市安芸津町三津3765-3 〒739-2402 ☎(0846)45-4012	第1土曜日 第4日曜日
坂 支 院 三 宅 善 祐 み やけ ぜん ゆう	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 〒731-4313 ☎(082)885-1064	第1、又は 第2日曜日
福 岡 支 院 大 庭 持 念 おお ば じ ねん	福岡県福岡市早良区城西2-11-37 〒814-0003 ☎(092)821-7975	第1日曜日 第3日曜日 15日
壱岐布教所 三 好 敏 博 み よし とし ひろ	長崎県壱岐市石田町池田東触1112 〒811-5221 ☎(0920)44-5445	13日・23日
筑後布教所 蒲 池 厚 かま ち あつ	福岡県筑後市大字西牟田5954-1 〒833-0053 ☎(0942)53-7273	第2日曜日 第4日曜日
天草布教所 大 庭 持 念 おお ば じ ねん	熊本県上天草市大矢野町維和1502-1 〒869-3604 ☎(0964)58-0742	1日
田 川 支 院 手 嶋 敬 徳 て しま けい とく	福岡県田川市春日町7-30 〒826-0026 ☎(0947)42-1819	第2日曜日 第4日曜日
名古屋地区 前 原 祐 学 まえ はら ゆう がく	愛知県名古屋市昭和区駒方町3-3 〒466-0832 ☎(052)831-7135	7・17・27日
瀬戸布教所 高 原 吉 一 たか はら よし かず	愛知県瀬戸市東本町2-20 〒489-0816 ☎(0561)85-6860	9・19・29日
亀岡布教所 田中節子 田中悠子 山藤明江 嶋崎福美子	京都府亀岡市篠町篠牧田73-1 〒621-0826 ☎(0771)25-7807	第2月曜日 第4日曜日

※講話日は行事によって変更になる場合があります。

謹賀新年

支院名・主管者(担任)名	住 所・T E L	毎月の講話日
大乗山 泰明寺 すずき きよとく 鈴木修徳	愛知県名古屋市中村区名駅2-37-3 〒450-0002 ☎(052)581-2069	5日・20日
開基堂 たかなみ じせい 高浪慈成	愛知県江南市寄木町天道18 〒483-8184 ☎(0587)53-5436	10日
東京支院 いの ほんぜん しょう 猪原善昭	東京都練馬区谷原2-6-37 〒177-0032 ☎(03)3904-1251	第1日曜日 15日 第4土曜日
山形布教所 こやま きよこ 小山幸子	山形県山形市長町2-4-6 〒990-0811 ☎(023)681-0770	10日
静岡支院 おおば えん しょう 大庭圓昭	静岡県磐田市城之崎4-7-3 〒438-0084 ☎(0538)32-6625	2・12・22日
豊川支院 みやけ ぜん ゆう 三宅善祐	愛知県豊川市中野川町1-26-3 〒442-0885 ☎(0533)86-4704	4日・20日
安城支院 しまだ ちきょう 島田知教	愛知県安城市新田町小山31-25 〒446-0061 ☎(0566)76-2504	第1、又は、 第2日曜日 18日・28日
明川支院 もうり きょうとく 毛利行徳	愛知県豊田市明川町堂ノ脇1-2 〒444-2601 ☎ご連絡は本山寺務局へ	11日 第4土曜日
佐屋支院 むらかみ ぜんりゅう 村上善立	愛知県愛西市大井町浦田面296 〒496-0921 ☎(0567)32-1825	4日 第2日曜日 24日
一宮支院 こうむら じゆう おん 香村浄音	愛知県一宮市大江1-7-4 〒491-0851 ☎(0586)72-7208	5・15・25日
西春支院 わたなべ えい かく 渡辺英覚	愛知県北名古屋市九之坪東ノ川20 〒481-0041 ☎(0568)22-5813	2・12・22日
岐阜支院 まえほん じんとく 前原順徳	岐阜県岐阜市切通7-15-22 〒500-8237 ☎(058)245-2939	4・14・24日
笠松布教所 いわた まさき 岩田正揮	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23 〒501-6042 ☎(058)388-2740	12日
大垣支院 こうむら じゆう おん 香村浄音	岐阜県大垣市宝和町5 〒503-0972 ☎(0584)78-4854	1・11・21日
関支院 よしはし けんりゅう 吉橋顕良	岐阜県関市西福野町2-15-11 〒501-3244 ☎(0575)22-0776	3・13・23日
平賀支院 ごとう ぜんこう 後藤善晃	岐阜県関市市平賀213-2 〒501-3822 ☎(0575)23-3771	5・15・25日
郡上八幡支院 わたなべ ぎしょう 渡辺義彰	岐阜県郡上市八幡町小野721-3 〒501-4221 ☎(0575)65-3933	8日・22日
四日市支院 そぶ えすいほう 祖父江瑞法	三重県四日市市赤堀2-4-7 〒510-0826 ☎(059)352-3633	3・13・22日
上野支院 はしもと どうねん 橋本道念	三重県伊賀市上野向島町3475 〒518-0875 ☎(0595)21-0127	1・11・21日
京都支院 あんどう じほんほう 安藤順法	京都府京都市上京区北横町360 〒602-0818 ☎(075)231-3437	1・9・20日

謹んで新春のお慶びを申し上げます

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

■児童養護施設

駒方寮
名古屋養育院
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮
泰山寮

■特別養護老人ホーム

安立荘
高浜安立荘
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス高浜安立
ケアハウス湯山安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム高浜安立

■自立援助ホーム

慈泉寮
かりん

■保育所

駒方保育園
光徳保育園
天王保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

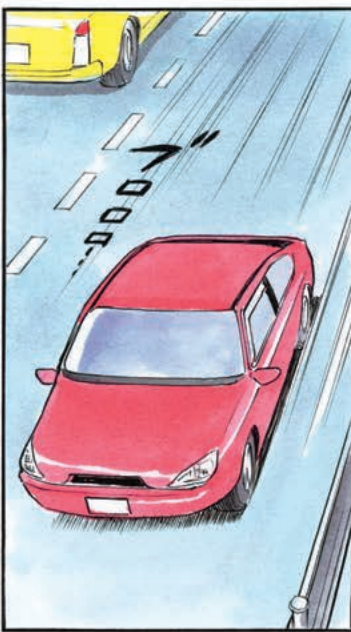
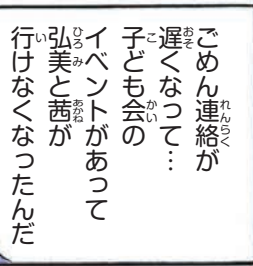
- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

てら まい
お寺にお参りシリーズ

お ふ だ お ま も り
御札と御守







なんだ
夢か…



それにしても
生々しい夢
だったな



母さん
おはよう

あーおはよう
早いね



えく
交通事故の
夢!?



うん思わす
飛び起きちゃった

まあ縁起
でもない!



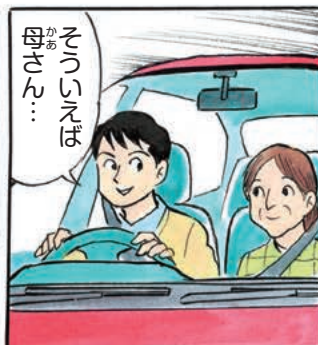
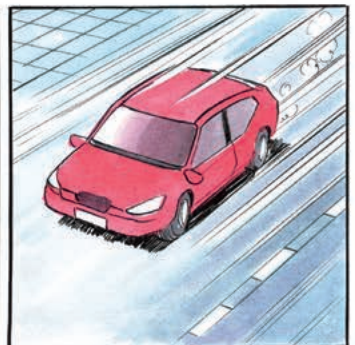
ちよつど良かった
今日お寺で
交通安全の
お参りがあるの

一緒に
行かない?



お寺?
母さんど?

そう車で
連れてってよ



そついえば
母さん…

毎年この御守を
送ってくれてるね



いつも
ありがとう





岡田さんの
息子さん？
確か…
秀行さん

はい今日は
交通安全祈願に
一緒に来ました



仏さまの
ご加護…



大きくなって御礼は
主に家の中でお祭り
いただくもの
御守は身につけて
お持ちいただくもの
ともに仏さまのご加護を
いただくものです



そつだったんですね
でも夢を見られたことは
よかったですではないでしょうか

これからは事故に
遭わないよう気をつけて
運転するのですか

…と仏さまに
教えていただいた
のだと思います



実は昨夜
交通事故に遭う
夢を見まして…

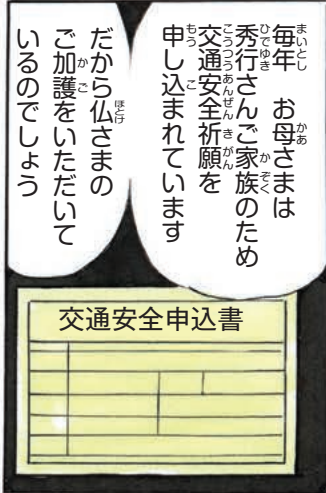


それは持っている
うちに御守の
力も弱まって
いくからです



もう一つ
お尋ねしたいのですが
新しい年ごとに
御守を受けるのはなぜですか

よく
わかりました



毎年 お母さまは
秀行さんご家族のため
交通安全祈願を
申し込まれています
だから仏さまの
ご加護をいただいて
いるのでしよう



本来ほんらいどのような
御札おまじや御守おまもりにも
仏さまや諸天善神しよてんぜんじんに
ご加護かごいただけるよう
ご祈念きねんがなされています



ところが一年ねんのうちには
仏さまの説せつかれる教くわうえと
反対はんたいのことをしたりする

まあいいか
だーれも
見てねえし
さぼっちゃまえ

御札おまじや御守おまもりも私達わたくしたちの
煩惱ぼんのうによって汚よごれが
ついてしまいます



またご守護しゆごいただく
力ちからも使つかえばなくなつて
しまいましょう

ああこの御札おまじの
お陰かげだ…
ありがたい



ですから
年としが改あらたまり私達わたくしたちの心こころも
真ま新あたらしくなつたと同時どうじに
新あたらしい御守おまもりをいただき

その一年ねんのご守護しゆごを
お願ねがいすることが
大切たいせつなのです

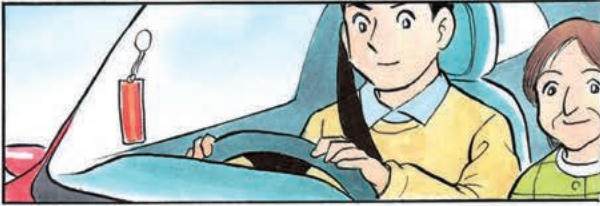


よくわかりました

一年ねんごとに新あたらしく
するのは大たい切せつな意味いみが
あるのです



母かあさん
ボクの家かぞく族ぞくの分ぶんは
自じ分ぶんで申まをし込こめよ



おわり

御符について

御符とは

お経文・神呪等しんじゆを書いて、病気の方かたに与たまえて服用していただくものをいいます。服用する人を守護するまもるという意味から「護符」・「神符」・「秘妙符」ともいいます。人間は生きている限り「病苦」に悩まされます。まだ医学が発達していなかった時代、神仏の力を借りて病気を治すことも行われました。その方法の一つとして、僧侶から御符を授かり、薬と同様に服用していました。

日蓮聖人と御符

日蓮聖人は、南条時光なんじょうしこうの病気に際し、お弟子の方に「薬王品の経文二十八文字をしたためた御符（蘇生の御符）を飲ませるように」と、お手紙を送られました。その功德によって短命の家系だった時光は五十年寿命を延ばしたと伝えられています。

御符の用い方

御符を服用する時は、教えの実行・堪忍を誓い、お題目を唱えながらいただきます。

外紙と内紙の用い方

切り傷・やけど等の薬を、患部に湿布する際に、外紙・内紙に薬を塗り、患部に貼りつけます。昔、法音寺では、「化膿止め」になると教えられました。





お寺の本棚

本当の信心

『現代生活の指針』

信心とは、心に信ずるということであり、何を信じるかといえ、世の中のすべての人が尊敬し、その尊敬がいつの世にも変わりないものを信ずることです。それは、仏さまのような方の行いと、その教えを信ずること

あります。世の中には仏さまを信ずる人は沢山ありますが、本当に信じているでしょうか。

仏さまは、苦しい世の中に立って、自ら苦しみ、その苦しみの中から幸を見出した人です。そして世の中の人々を救い助けようと努力した方です。仏さまはどんな苦しい中に立っても人を慮む心を忘れず、無理を言う人があっても腹立ててはならぬと教え、自らも苦しい世の中で忍辱の行いをされた方です。我々は尊い仏さまを信じて、仏さまの尊い行いを見習い、実行をせねばならぬ者だ、仏さまの行いと教えは間違いないと了解し、仏さまのような行いをして心を明るくして喜び多いものにする、これが本当の信心であります。

なんだかありがたい、人が頭を下げるから自分も頭を下げるのだ、というような信心は形ばかりの信心であります。老人の寺詣りといひまして、行きと帰りは嫁の悪口を言い合ったり、自分の行いは悪いが極楽へやってもらいたいという願いをする。若い人はどうかといえは商売繁盛するように、樂をして金が儲かるようにと願い、さては隣に大きな蔵が建てられた、日が当たらぬようになって困った、早くこの蔵がなくなる



ように、ということをお願いに行く。こんなことをして自分は信心していると言っていますが、これは信心でなくて呪いであります。形は信心のように見えて実は鬼畜の心でありますから、反対に罪悪であります。信心はどこまでも心の建て直しをする信心でなければなりません。

声聞乗といって仏さまの教えでは一番低い方の教えでも、小さな欲望を満たすための信心というものは全然認めていないのです。小さい自己にとらわれての信心というものは、自分の煩惱を増長せしめるものであって仏の教えではありません。世間の無意味な生活を離れて一段と高い生活をしたという心持ちがなければ、仏教を学んだとは言えないし、信心とも言えないのであります。欲望の信心というものは、ますます煩惱を増長させ、心の平和、世の中の平和を破るものでありますから、これは小さい教えというよりもその宗教が社会に悪い影響を及ぼすことを考えると、むしろ邪教といわねばなりません。仏の教えはどこまでも人の心の建て直しをするものであるのに、大切な仏の教えを扱う者の取り扱いが悪く、邪教視されるようなものにするならば大きな罪悪であります。仏の教えはどこまでも人の心の曲がっているのをまっすぐにするものであります。

聖徳太子は十七条憲法に

「三宝に帰依せずんば何を以ってか枉まがれるを直うせん」と仰せられています。よく考えねばならぬと思えます。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (6)

無量義經 徳行品第一

戒・定・慧・解・知見より生じ 三昧・六通・道品より発し 慈悲・十力・無畏より起り

衆生善業の因縁より出でたり 示して丈六紫金の暉を為し 方整照曜として甚だ明徹なり

〔戒〕は持戒です。正しい道を守り、仏さまの戒められた戒法を守ることを喜びとします。

〔定〕は禪定です。戒を守ることによって、心が決定して動かないようになります。

〔慧〕は智慧です。心が決定して乱れないようになります、正しい智慧が具わります。

〔解〕は解脱し世間の苦を離れることですが、苦を離れるには、仏さまのみ教えを修行して戒を持ち、心を正しい方向に定め、智慧を磨いて、苦を苦と思わない心をつくらなければなりません。

〔知見〕とは解脱の道を見定め、知ることです。

〔三昧〕は三昧耶を略したもので、静慮と言います。

〔六通〕は六神通。天眼通・天耳通・他心通・宿命通・神足通・漏尽通の六。

〔道品〕とは三十七道品のことです、三十七助道品とも申します。仏道を成就する助けとなる修行の道を三十七段に分けて説いたもの。一、四念処。二、四正勤。三、四如意足。四、五根。五、五力。六、七覺支。七、八正道のこと。

「慈悲」は、一切の人々を幸福にするために力を尽くし、一切の苦を除くために力を尽くそうという心。「十力」は、仏さまの具えていらっしゃる十の勝れた力。

一、是処非処を知る智力。二、三世業報を知る智力。三、諸禪解脱三昧を知る智力。四、諸根の勝劣を知る智力。五、種々の解を知る智力。六、種々の界を知る智力。七、一切の至る所の道を知る智力。八、天眼無碍を知る智力。九、宿命と無漏を知る智力。十、永く習気を断ずるを知る智力。

「無畏」 〓 無所畏とも言って四つの条件があります。

一、正等覚無所畏。二、漏永尽無所畏。三、説障道無所畏。四、説尽苦道無所畏。

仏さまは、このように修行の結果得られた尊い働きを具えていらっしゃいますから、仰ぎ尊ばれるのであります。

「衆生善業の因縁より出たり」 〓 一切の「善業」には、善い因と縁の両方が具わることが肝心です。そのもとに、さらに善い行いを続けていくことにより、仏の境界に到達することができます。「示して丈六紫金の暉を為し」 〓 仏さまのお姿を形に現わして「丈六」と言われています。これは「一丈六尺」の略で、仏さまは身の丈が高く、人々から仰ぎ見られる、ということなのです。そして、紫金のような美しい光が身から出て立派な相を現わしておられ、「方整照曜として」 〓 正しく真っ直ぐお立ちになっていて、そのお姿は周囲を照らし「甚だ明徹なり」 〓 お徳が相に現われて、お姿はとても美しいのであります。

毫相月のごとく旋り頂に日の光あり

旋髪紺青にして頂に肉髻あり

浄眼明鏡のごとく上

下に胸ぎ 眉睫紺舒にして方しき口頬なり

「毫相」は白毫相とも言います。仏像を見ますと、眉と眉の間の少し上の所に白い毛が渦巻いているのが見られます。これは、仏さまのお徳の勝れたことの証拠と言われています。それが月を見るように綺麗であります。「項に日の光あり」||「仏の三十二相」の一つで、項から白い光が射しているように、辺りを照らしています。「旋髮紺青」||髪の色が渦を巻いていて、それは美しい紺青色であります。「頂に肉髻」||頭のまん中が高くなっております。「浄眼明鏡のごとく上下に胸ぎ」||眼が涼やかで、その働きは自由自在であります。「眉睫紺舒にして方しき口頬なり」||眉が紺色で、口と頬の形が整っております。

唇舌赤好にして丹華の若く 白齒の四十なる猶お珂雪のごとし 額広く鼻修く面門開け
胸に万字を表して師子の臆なり 手足柔軟にして千幅を具え 腋掌合縵あつて内外に握れ

「唇舌赤好にして丹華の若く」||唇や舌が赤い華のようで、「白齒の四十なる猶お珂雪のごとし」||齒は細かくて四十有り、白く揃って雪のようであります。「額広く鼻修く面門開け」||額が広く、鼻が長く、顔全体が晴れやかであります。「胸に万字を表して師子の臆なり」||万字は卍、仏教の印です。四方が円満に揃っているという意味で「完全」を象徴しています。胸の上部は獅子の胸のように張っています。「手足柔軟にして」||これも、良い相を表わしております。「千幅を具え、腋掌合縵あつて」||手足の筋

が、車の輪が重なったようになっていて、腋の下や掌にも細い線が揃っています。「内外に握れり」とは、線と線とが交錯してよく整い、美しく見えることで、これは満足の意味です。

臂修肘長にして指直く織し 皮膚細軟にして毛右に旋れり 踝膝露現し陰馬藏にして細
筋鎖骨鹿膊脹なり 表裏映徹し浄くして垢なし 濁水も染むるなく塵を受けず 是の如き
等の相三十二あり 八十種好見るべきに似たり

「臂修肘長にして」 上腕も下腕も長くて、「指直く織し」 指は真っ直ぐで細く、「皮膚細軟にして」 皮膚は木目細やかで、「毛右に旋れり」 右の方に毛が旋っているとは、智慧分別が大変勝れていることを表わしたものです。「踝膝露現し」 くるぶしやひざはよく現われていて何処から見ても格好良く、「陰馬藏にして」 陰部は表に現われていなくて、「細筋鎖骨鹿膊脹なり」 筋は細く、骨はがっしりして、脚は鹿のようにすらりとしています。「表裏映徹し浄くして垢なし」 前から拝しても後ろから拝しても透き通っていて、どこから見ても美しいお姿です。

仏さまは少しも汚れたところがなく、濁った水の中に入られても濁った水に染まらず、他から塵をも受けつけないような、浄らかな美しい相をしていらっしやるのです。

このような立派な相が三十二もあり、更に細かく分ければ八十種（八十種の好相）にもなります。果てしない徳を具えていらっしやるのであります。

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

色々なエピソードのお陰で

今の自分がある

忘れられないご利用者、

ご家族とのエピソード

小原寮に勤めて十二年、ご利用者、ご家族と忘れられない思い出をいくつも紡いできました。特に印象的な利用者さんとのエピソードを紹介します。

一つ目は、小原寮に勤めて三年目の年に、軽度知的フロアから重度フロアへの異動が決まり、何もかもが手探りの状態で仕事をしている中、初めて受け持った利用者Yさんから、フロアを越えて手紙を直接手渡してもらえた時です。手紙の内容は「萌絵さん元気ですか？私は元気に生活しています。お仕事頑張ってください。萌絵さん大好き

です。お手紙のお返事ください」というものでした。それから、文通がしばらく続き、年賀状も実家に届くようになりました。この手紙やハガキは自分の大切な宝物として、今でも手元に置いてあります。

二つ目は、重度フロアへ異動して初めて担当した利用者Iさんと一年にわたって関わる中で、顔と名前を理解してもらえた時です。自分自身、とてもうれしくて泣きながら喜んだことを今でも覚えています。その利用者Iさんとは関わりを通して、「〇〇ちゃん（自分の名前）」「あかん」などはっきりと聞き取れるような場面が多くなりました。当時の上司から「ここまでIさんが喋れるようになったのは、あなたがIさんとの関わりの時

間を大切にしてきたからだよ」とほめてもらえ、今もその言葉を胸に仕事に励むことができています。

ご家族との印象的なエピソードも沢山あります。小原寮で勤務をして四年目、重度フロアで初めて担当になった利用者Kさん。ご自宅で生活されてきたこともあり、施設で過ごすことや、居場所作りがむずかしく、事務所前のベンチに座って過ごしていることが多い利用者さんでした。

ご家族から、施設でのKさんの金銭や誕生日プレゼントに関する事で、気持ちが複雑になってしまつような話を沢山聞きました。当時の自分、ご家族の話に大きく頷き、共感を示す対応しかできませんでした。それでも、食事を兼ねた交流会や、日々の暮らしの様子をメッセージで伝えるなどの取り組みを重ねてきたことで、徐々にご家族の考え方や表情が柔らかくなり、食事会にお身内の方を連れてきてくれるようになり、とてもうれ

しかったです。

三年間で、Kさんの担当を終えることになりましたが、その後もご家族と接する機会は多くありました。そんな中、食事の場面での出来事です。大勢のご家族の前で「うちの子が、この小原寮で楽しそうに生活ができてるのは、竹川さんのお陰なの。竹川さんに、うちの子を預けて本当に良かった。本当にありがとう。まだまだこれからもよろしくね」とお話しくださいました。

この言葉は、自分がやってきた支援は間違っていないかったんだと自信につながることででき、涙なしではご家族の言葉が聞けませんでした。

十二年の勤めの中で、色々なエピソードが自分を動かして今の自分があるのだと改めて感謝でいっぱいです。これからも、仕事に精進していきたいと思います。

障がい者支援施設 小原寮 竹川 萌絵

第15回 福祉実践発表会 日本福祉大学で開催



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会 ～天王保育園が最優秀賞を受賞～

令和4年12月4日、日本福祉大学 東海キャンパスにて「第15回福祉実践発表会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会場とオンラインのハイブリッド形式で開催し、総勢約100名の参加となりました。今年度の発表分野は「保育分野と児童分野」で、6施設の実践発表が行われました。

開催セレモニーでは、社会福祉法人昭徳会 創立110周年記念映像を上映し、昭徳会の職員だけでなく、学生の皆さまや日本福祉大学関係者の皆さまにも、杉山辰子先生の「困っている人はみんないらっしやい」の精神を、鈴木修学 初代理事長（法音寺御開山上人）が受け継ぎ、これまで取り組んできた社会福祉の歩みを知っていただくことができました。

続いて、保育分野と児童分野の6施設（駒方保育園、光徳保育園、天王保育園、駒方寮、名古屋養育院、名古屋若松寮）による発表が行われました。

保育園でのSDGsに関する取り組みや、コロナ

禍での保育のかたち、児童養護施設での性教育や自立支援、ホーム調理の取り組み等について発表されました。

各施設、とても興味深い内容で、参加者からも積極的に質問が出され、非常に有意義な時間となりました。

全施設の発表終了後に、参加者の投票によって、最も印象に残った施設を1施設、選んでいただきました。いずれもすばらしい発表でしたが、見事、最優秀賞に選ばれた施設は天王保育園で、発表テーマは「安全保育のかたちくもつと楽しい明日のために」でした。

最近、保育の安全性が問われる事故や事件が多発し、マスコミでも取り上げられています。この悲しい出来事を天王保育園で起こさないようにするため、これまでの事故事例を自分事として考え、予防策等を検討し取り組んできたという内容でした。子ども達の笑顔を未来につなげるために、天王保育園の全職員が協力して取り組まれていることが、発表

内容から伝わってきました。

最優秀賞に選ばれた天王保育園（伊藤舞グループリーダー）には、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）より、賞状と記念品が贈られました。

発表会終了後に、参加された日本福祉大学の先生から「現場のリアルな状況がわかり、勉強になりました。今後、昭徳会の施設と連携してさまざまな取り組みを行っていきたいです」という声や、学生からは、「発表施設のインターンシップに参加したいです」といううれしい声が聞かれました。

来年は「高齢分野」の発表です。どのような取り組みについて発表されるのか、とても楽しみです。

福祉実践発表会 実行委員長（法人本部事務局 事務員）

金子 真帆



石川県で「第34回日本福祉大学社会福祉セミナー」を開催しました

～日本福祉大学～

11月27日に、石川県金沢市で「第34回日本福祉大学社会福祉セミナー in 石川」を開催しました。

毎年大学、同窓会及び後援会の3者にて「日本福祉大学社会福祉セミナー」を開催しています。第1回目は1987年に広島市で開催した会が始まりで、元々本学社会科学研究所（現・福祉社会開発研究所）の催事として社会福祉関係職員の現任教育の場として開催（名古屋市内）していました。その後、全国各地の卒業生からの声を踏まえ、現在の「社会福祉セミナー」が誕生しました。以降、毎回の開催地となる地域同窓会を中心に実行委員会が組織され、社会福祉をめぐるその時々テーマを設定し、地域独自の特色も加味したセミナーを企画・実施してきました。直近10年間での聴講者は3000名を超えており、全国各地で多くの皆さんに参加をいただいています。

今年度は、石川県の地域同窓会が中心となり『ダイバーシティ×ふくしく』当事者の「働く」から学ぶソーシャル・インクルージョンの実現というテーマで、対面・オンラインを含め300名を超える方々に申し込みをいただき実施されました。ダイバーシティとは多様性や相違点という意味で、集団において年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好などさまざまな属性の人が集まった状態の



写真提供・日本福祉大学



こと。現在では多様な人材を登用し活用することで、組織の生産性や競争力を高めるといふ、労働市場の中でも使われる言葉になっています。

今回は主に障害者の「働く」という側面に光を当て、「疾病や障がいのある人々が活躍する職場の

つくり方」(講演講師・福島県立医科大学 八木亜紀子先生)のテーマで記念講演が行われました。その後、石川県内で障害者雇用に取り組んでいる法人や障害者の社会進出を支えている方等のビデオ報告があり、最後に本

学学長補佐の山田壮志郎先生と金沢大学の森山治先生の2名による

「質的転換期を迎えたソーシヤル・インクルージョンの実現課題」

と題した対談が行われ、ダイバーシティの考えをさらに広げていくための課題について議論がなされました。



参加者からは、「ビデオ報告で、障害者の就労に関わる当事者の現場の話や、就労に取り組む団体の実体験が聞けてとても良かった。これらの動画を、国内の多くの事業所の方々に見ていただきたいと切実に感じました」

「支援者側は生活に困難がある方は何かしらの支援を求めている、手を差し伸べることが当然という一方的な想いがあると思う。必ずそうとは限らないため本人の内なる思いを引き出すことや、何を求めているかを慎重に考えて関わりを持つていくことが必要なだと改めて学んだ」といった声が聞かれました。

今回はダイバーシティをキーワードに障害者の「働く」という側面に焦点を当てたセミナーでしたが、右記に挙げた参加者の声の通り、セミナーを通じて新たな知見を得た聴講者も多くおられたようでした。

次年度開催地は「東京」に決定しています。既に東京地域同窓会を中心に次年度の準備が進められています。概要が決まり次第、『法音』でもご案内できればと思いますので、ぜひご聴講ください。

北信越地域ブロックセンター 富山オフィス

筒井 久実子

幸せの種まき

怒りや愚痴が出そうになった時

「ここだ」と思って堪忍しましょう

不都合な状況は因縁によって、

現れるものです

「仏さまに試されている」と思って

堪忍を實行しましょう

大乗山 法音寺

編集後記

先の御法推進全国大会で発表がありました。令和5年の御法推進目標は「勇猛精進」、実行目標は「堪忍」となりました。「勇猛精進」は今年で三年目。実行目標は一昨年が「慈悲」、昨年在「至誠」、そして今年が「堪忍」。実行目標は単に口に唱えるだけでなく、常に意識しながら毎日一回でも実行していかなければ意味がありません。

鈴木廣修上人は今月号で「周囲の堪忍に感謝することが、自らの堪忍修行の基礎になる」と述べられました。それを読み、ふと日達上人のご教化を思い出しました。

日達上人は、堪忍をとてむずかしいこととした上で、「歯を食いしばってすることはありません」と言われました。「日常、あたりまえ」と思っていることの中に「ありがたい」と思えることを見つけていくと、堪忍しやすくなります」とご教示くださいました。

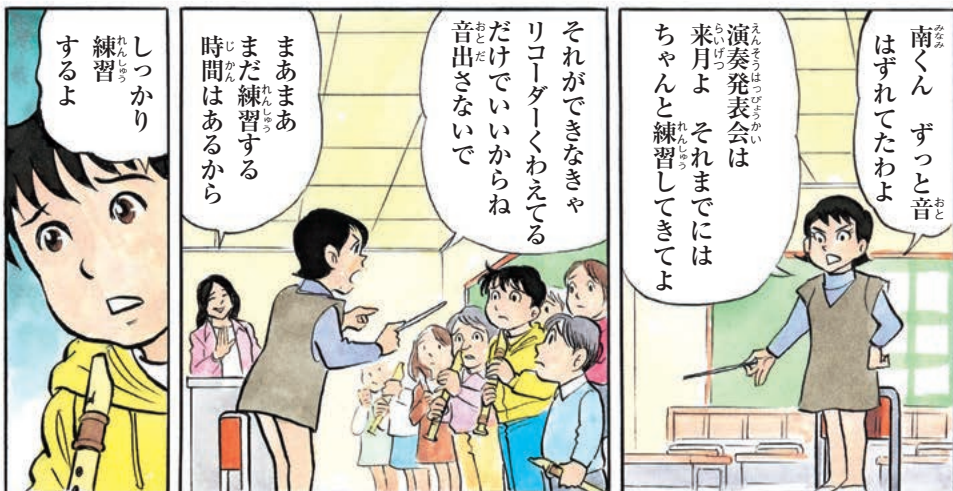
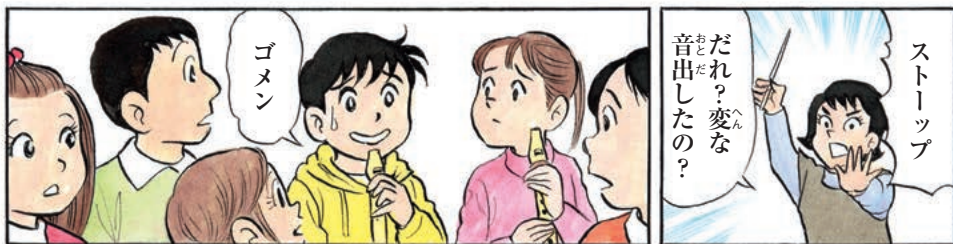
堪忍は不都合な状況を一方的に耐え忍ぶのではなく、物事を「感謝」の視点で見ることが大切であることを教えていただきました。

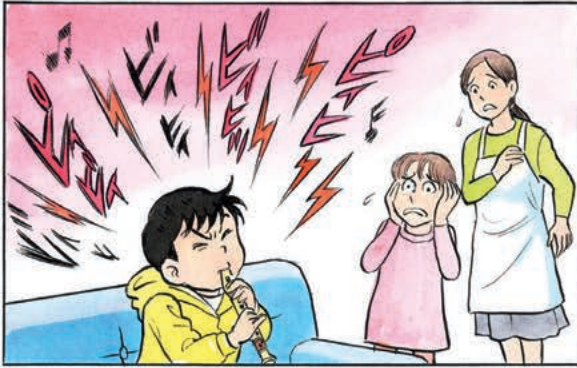
今年一年、感謝と堪忍の心で穏やかに過ごしていきたいでしょう。



つね かい 常にもう1回

竹中 淳





リコーダーの
合奏？
どんな曲やるの
吹いてみてよ

まだうまく
吹けないけど…



もう練習なんか
しな〜い！

わ〜もう
やめた
やめた

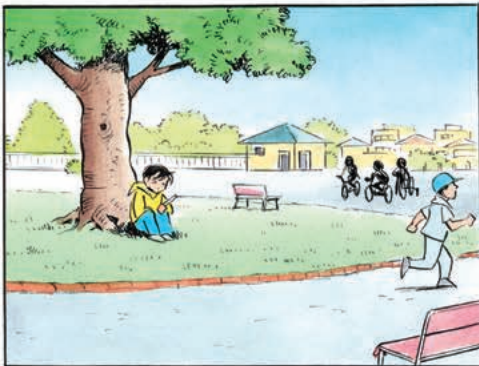
なにこれ
ひどい…



練習したら
きつとうまく
吹けるわよ

蓮は何でも
すぐに投げ出す
んだから…
あきらめちゃダメ

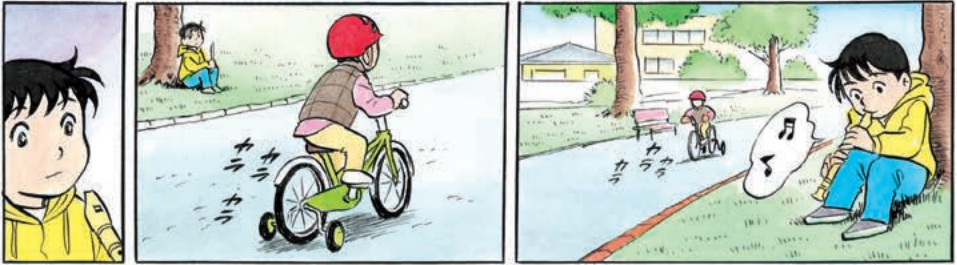
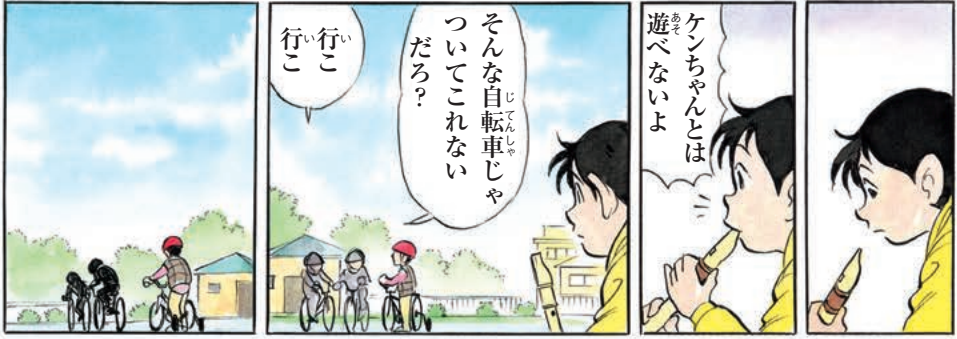
まだ発表会まで
日にちがあるん
でしょ？

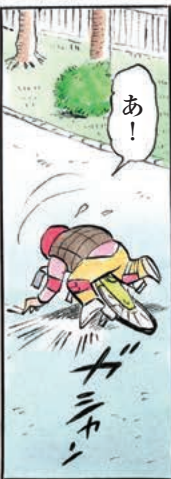


あー耳が
キンキンする

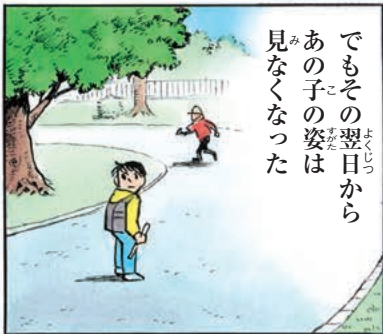
蓮は？
公園で練習
するって！

そうかな…





でもその翌日よぐじつから
あの子この姿すがたは
見みなくななった



数日すうじつたつても
来こななかかつた



どうしたんだろ
あんなに練習れんしゅうして
グングンぐんぐんうまく
ななつつてていいつたつのに

もうちょっと頑張がんばつたら
スイスイすいすい乗のれるるのに



今日きょうは公園こうえんで練習れんしゅう
するするるののは無理むりだだな



ここが
いいや
だれも
いないし



あ先生せんせい
すみません
勝手かってに入はいつて



あー
かまわんよ
ヘタな演奏えんそうが
聞こえてきたから
だれかと思おもつてね



ヘタ？ やつぱり
そんなにヘタ
ですか？

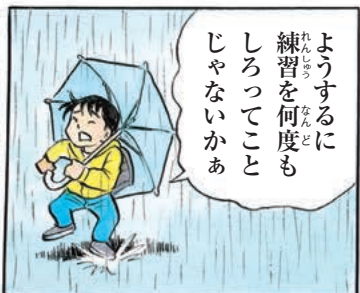
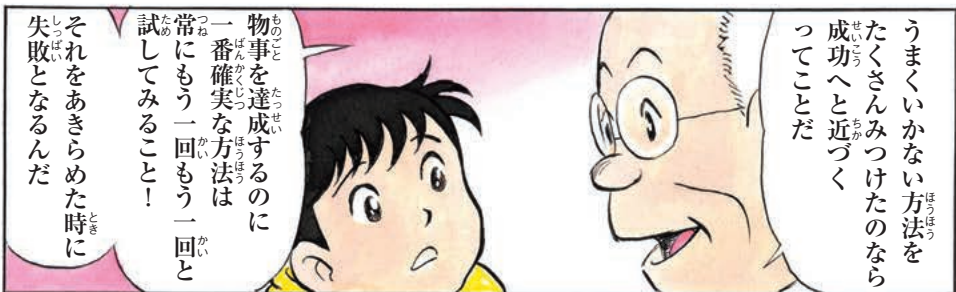


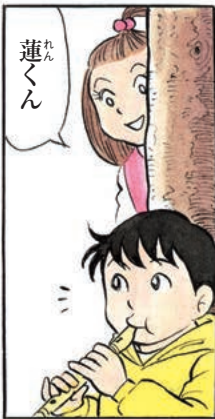
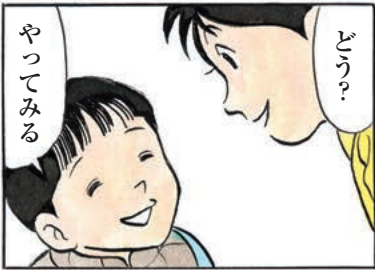
あー
どうしよう
やつぱり
ダメだあ

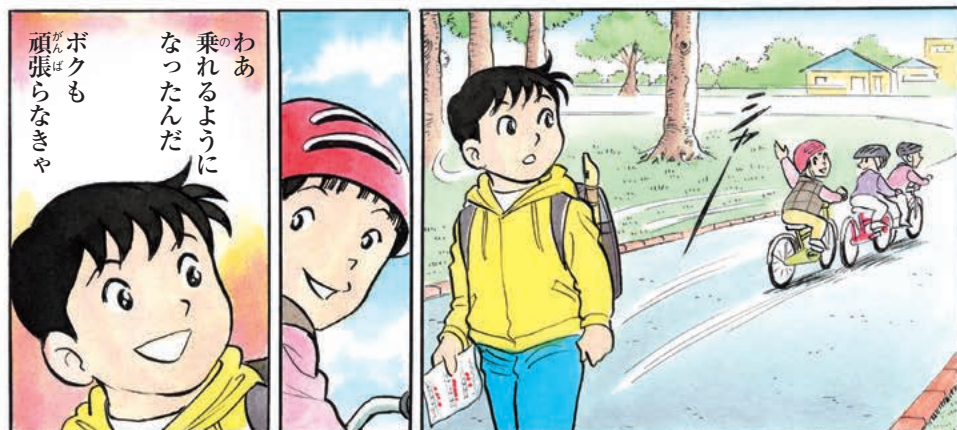


いらんこと
言ったな…
お詫わびにいいこと
教おしえてやろう









令和5年・法音寺年間行事予定表

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
1	1	日	新年祝祷会	7	7	金	講 日
	2	月	〃		17	月	講 日
	3	火	〃		23	日	ほうろく加持・虫封じ祈禱
	7	土	初講日・交通安全祈願会		27	木	講 日
	17	火	講 日		30	日	孟蘭盆会
	27	金	講 日(宗玄大徳御祥月命日法要)				
	29	日	星祭・厄除祈禱				
2	7	火	講 日	8	7	月	講 日
	17	金	講 日		17	木	講 日
	19	日	報恩講習会		27	日	講 日
	26	日	育成合同会議				
	27	月	講 日				
3	7	火	講 日	9	7	木	講 日
	17	金	講 日		10	日	報恩講習会
	21	火	春季彼岸会		17	日	講 日・合祀供養
	26	日	第51回青少年育成道場		23	土	秋季彼岸会
	27	月	講 日		27	水	講 日
4	7	金	講 日・釈尊降誕会	10	7	土	講 日
	9	日	報恩講習会		8	日	全山一斉清掃奉仕
	17	月	講 日		17	火	講 日・御会式
	27	木	講 日		22	日	大黒・鬼子母尊神祭・七五三祈禱会
	29	土	胎教児証書授与式		27	金	講 日
				28	土	信教師セミナー(～29日)	
5	3	水	浄心道場(～5日)	11	3	金	御法推進全国大会
	7	日	講 日		7	火	講 日
	17	水	講 日		17	金	講 日
	21	日	御開山会		19	日	報恩講習会
	27	土	講 日		27	月	講 日
6	4	日	御開山会	12	3	日	本尊授与式・授戒会
	7	水	講 日(御開山上人御祥月命日法要)		7	木	講 日
	11	日	御開山会		17	日	講 日(日達上人御祥月命日法要)
	17	土	講 日		27	水	講 日
	25	日	報恩講習会		31	日	晦日参り
	27	火	講 日(安立大法尼御祥月命日法要)				

(注) 上記事項の変更、追加、及び団参等については事前にご通知いたします。

勇猛精進



シンビジウム

法音寺